

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 14 回 定例委員会
日時	平成24年11月22日 自 15時 至 15時50分
場所	苫小牧市役所第2庁舎2階会議室
出席委員	委員長 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫 委員 和野 幸夫
欠席委員	
会議録署名委員	植木 忠夫 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 田中 亮太
事務局職員	学校教育部長 斉藤 章 吾 スポーツ生涯学習部長 生水 賢 一 学校教育部次長 澤口 良 彦 スポーツ生涯学習部次長 木戸 克 史 指導室長 中川 恵 介 総務企画課長 戸村 真 規 総務企画課総務係長 三橋 大 輔 総務企画課総務係主事 田中 亮 太
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（上原委員長） … 15時
2	会議録署名委員の指名（植木委員）
3	会議録の承認
	（上原委員長） 第13回定例教育委員会（平成24年10月26日開催）の会議録について、何か質疑等はあるか。
	（一同「なし。」の声）
	－会議録どおり承認－
4	教育長の報告
	始めに、先月26日の教育委員会以降の報告だが、文化事業では11月は市政功労賞自治貢献者と、文化奨励賞の授賞式から始まり、2日に体育協会の設立60周年記念事業が開催された。7日には、高齢者主張発表会があった。20日には青少年表彰式が開催された。
	次に、学校行事では、7日の苦教研大会には委員長や各委員により、悪天候の中、各部会の様子を参観していただいた。10日には若草小学校の60周年記念式典、17日には啓明中学校の30周年記念式典があった。13－15日には、学校管理職の人事面接を行った。各学校の経営、生徒指導、人事の課題等について、各管理職である校長先生と教頭先生からお伺いした。今後の学校運営に少しでも役立てばと考えている。また、昨夜、第4回目となる弥生中学校の統廃合による閉校に伴う準備会を開催

した。苫小牧市としては、昭和57年の丸山小学校の廃校以来、31年ぶりの学校閉校なので、中学校としては初めての事業となる。また、弥生中学校は歴史と伝統がある学校であるから、閉校に向けての準備は着々と進んでいるが、生徒、先生、父兄、地域の皆さんそして卒業生に十分配慮した式典事業になればと考えているところである。

次に、11月7日に起きた青翔中学校3年男子生徒の、不慮の事故についてであるが、生徒さんの御冥福を祈り、哀悼の意を表したいと思う。事故後の対応については、後程指導室長から説明をさせるが、市民生活部と連携して交通指導員を派遣し、再度、交通教室の開催を行いたいと考えている。また、学校との協議により、安全地帯等の設定についても、検討を行いたいと考えている。青翔中学校では、事故原因の分析や今後の学校の対応等について、現在教員間で話し合っているとのことだったので、話し合いの内容について別途伺い、できれば校長会等でも話ししたいと考えている。

次に、12月議会についてだが、11月28日（水）に招集告示される。同時に、議会説明会が開催される。議会は12月6日に開会し、6-11日に一般質問、12日に文教経済の常任委員会、13日に特別委員会が開催され、14日に閉会の予定となっている。一般質問で想定される案件は、はなぞの幼稚園の閉園問題、図書館の指定管理者の問題、給食費の改定等だが、どのような質問内容になるかは11月30日の一般質問通告によると思う。また、提案する議案では、この後説明させていただくが、補正予算その他の議案として、スポーツ生涯学習部から、ときわスケートセンターと矢代ゲートボールセンターの指定管理者更新による議案を予定している。

最後になるが、議会終了後すぐに衆議院の選挙がある。慌ただしく冬を迎え、インフルエンザの流行が心配される時期である。今のところ学級閉鎖はないが、健康管理に留意し、併せて成績処理の時期となるので、個人情報管理にも十分配慮いただき、生徒の進路指導等に安全を期し、落ち着いた環境で年末を迎えるように緊張感を持って学校経営に励むよう、先の校長会でお願いしたところだ。

<p>今後の行事としては、教育功労賞を野宮俊一氏が受賞されたので、28日に叙勲受賞者の祝賀会が予定されている。</p>	
<p>(上原委員長) 教育長からの御報告にありましたが、生徒さんが亡くなられたということで、大変痛ましい事故だと思いますし、私ども教育委員会としましても、心から哀悼の意を表したいと思います。</p>	
<p>教育長からの報告について、何か質疑等はあるか。</p>	
<p>(一同「なし。」の声)</p>	
<p>5 議 案</p>	
<p>第1号 教育費補正予算について</p>	
<p>第2号 指定管理者の指定について</p>	
<p>(1) 苫小牧市ときわスケートセンター</p>	
<p>(2) 苫小牧市屋内ゲートボール場</p>	
<p>(学校教育部長・スポーツ生涯学習部長) (議案第1号及び第2号に付き配布した議案等に基づき説明)</p>	
<p>(上原委員長) 質疑に付す。</p>	
<p>(佐藤守委員) まず図書館費のほうで、蔵書が増えるということだが、蔵書率が何%上がるのか、分かれば教えていただきたい。それから、スポーツ生涯学習部長から説明があったときわスケートセンターについてだが、新しい建物ができたら古いほうは取り壊すのではなく、併設して2つを運営する可能性があるということか。</p>	
<p>(スポーツ生涯学習部長) どの程度の率になるかということは、後程報告する。それときわスケートリンクだが、古い建物を残すか残さないかについては今のところ未定</p>	

だが、住民説明会では「建てたら壊す（建て替え）」ということで話している。ただ、完成した時にブルームボールの世界大会があり、先日スポーツ課の職員をカナダの大会に派遣したのだが、観戦した内容を見ると、最低でも4リンクは必要だという所感が書かれていたために、今後は理事者と協議をして、古いリンクを大会の年度末まで残すのかどうかについても視野に入れながら、今後の検討課題として協議してまいりたい。

(上原委員長) 補正予算の保健体育費、緑ヶ丘公園陸上競技場改修事業費についてだが、測量調査費は土木費・公園整備費から同じ時期に補正予算として出されるものなのか。

(スポーツ生涯学習部長) 測量調査費の3,000千円は、補正予算ではなく公園整備費の現状予算の中で対応できるものなので、現在実際に手掛けている最中になる。

(佐藤守委員) 指定管理者の選定に公募・非公募があるが、指定管理者として決まった場合は、施設の管理について、皆さんから意見をもらう場合がある。そういったものは、公募であっても非公募でも実施するということでよろしいか。

(スポーツ生涯学習部長) モニタリングは、公募・非公募に関わらず実施する。毎年、年度末が終わったらモニタリング調査を行い、それに対して評価するようになっている。

(佐藤守委員) ときわスケートセンターについては、モニタリングが出ていない。

(スポーツ生涯学習部長) 制度ができたという条件のもとに公募しているものについては、モニタリング制度があるということになるので、それより古い年度で選定されたものについては、モニタリングが行われていないことになる。

(上原委員長) 他に質疑あるか。それでは質疑がないようなので、原案どおり決定することよろしいか。

(一同「はい。」の声)

－原案どおり決定－

第3号 教育委員会職員の処分について

第4号 教育委員会職員の人事について

(上原委員長) 議案第3・4号は、いずれも人事案件であるので、会議規則第21条により秘密会としたいと思うが、よろしいか。

(一同「はい。」の声)

－原案どおり決定－

6 協 議

な し 。

7 そ の 他

(1) 指定管理者制度導入に関する図書館協議会からの答申について

(上原委員長) それでは説明をいただく前に、私のほうからお諮りしたいのだが、中身が中身だけにボリュームもあり、色々と勉強等しなければならない、あるいは各委員の共通理解を得たいと思っているので、中身の質疑等については別の機会（勉強会

等) を設けた中で行いたいと思っている。したがって、今日は説明を受けるということにしたいと思うが、各委員の皆さん、よろしいか。

(一同「はい。」の声)

(スポーツ生涯学習部長) 今年の7月13日に「苫小牧市立中央図書館への指定管理者制度のあり方」ということで諮問させていただき、11月2日に図書館協議会のほうから答申をいただいている。内容については、資料の「その他」に掲載している。答申とは別に、今年の3月に図書館協議会のほうから、理想の図書館像というものが提出されているので、御覧いただきたい。答申の要旨等については勉強会の中でまとめて提示し、説明させていただきたい。

(上原委員長) 確認だが、社会教育委員会議のほうには掛けているのか。

(スポーツ生涯学習部長) 掛けていない。これからになる。

(上原委員長) そうすると、日程等は後で協議するが、社会教育委員会議の開催後ということになるということでしょうか。

(スポーツ生涯学習部長) はい。

(上原委員長) それから、勉強会等に向けて、各委員のほうで用意しておいてほしい資料があれば、スポーツ生涯学習部長のほうに要望を出していただければと思う。日程は後程決めるので、それに間に合うような形で早目に言っていただければと思う。他に確認事項はあるか。

(佐藤守委員) 今まで、協議会というのは過去にもあったと思うが、こういう諮問と答申という形で開催したことはあったのか。

(教育長) あると思う。現在は図書館協議会1つだけだが、色んなことについて諮問をしている。

(上原委員長) 佐藤委員が訊いているのは、指定管理者等に関して、今までそういうのがあったのかどうか、ということか。

<p>(佐藤守委員) 図書館協議会というのが今までずっとあった中で、僕が教育委員会委員になってからは図書館協議会からこういったものが上がってきたというのを聞いたことがないので、今までにもあったかどうかをお訊きした。</p>
<p>(教育長) 教育委員会に諮るような案件はなかったかもしれないが、協議会としては色んな協議の中で、仮に図書館のあり方でも冊数を増やすだとか、そういうことについては協議会に掛けて、図書館の運営については市民に意見を聞いている。</p>
<p>(佐藤郁子委員) 協議会に諮問を掛ける時に、現状の説明をすると思うが、今の中央図書館の現状をどこまで知っているかによって、理解も随分違ってくると思う。その辺り、どこまでしているのかというのが分かれば、「こういうことがあるので原則今の中央図書館を中心にやっっていこう。」という意見も出てくるだろうし、状態によってメリット・デメリットが出てくれば、また見方も変わると思うので、協議会で諮問する時に、どんな説明をしているのかというのを知りたいので、その辺りの整理もお願いしたい。</p>
<p>(教育長) 基本的には、多分意図が違っていたと思う。諮問の仕方も、色んな図書館のあり方があるけれど、23年にアンケートを取っているので、「開館時間を拡大してください。」等の市民の要望があるので、それに応えるためには、指定管理者というのも1つの方法である、と。もし指定管理者にするのであれば、例えば「本の扱いをどうしたらいいです。」とか、「業者はこういうところがいいです。」というのを、諮問に掛けようと思ったのですが、最初から指定管理者を否定されるような諮問になってしまったので、きっと噛み合っていないと思う。私達の説明と、意図したことと、返ってきた答えが違う。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 諮問した時に図書館協議会の委員から言われたのは、「諮問の仕方がおかしい。」ということであった。なぜこのような形で諮問したのかというについては、指定管理者制度を適用しなければならない現状にある、要するに、専門的な司書の確保の問題、それと、管理費が緊縮財政により限られた予算しかない中で、市民のアンケートに答えていくためには、更なる蔵書の増加をしなければ</p>

ならない。ただそれは、今の現状ではできないということと、市民が求める新たな図書サービス、これからの図書館のあるべき姿というのがあり、それらを実現するための1つの方法として市は指定管理者制度を検討していて、それについて諮問させていただきたい、と。最終的には教育委員会の判断になるが、各委員の皆様にも、ただ指定管理者か直営かというだけで判断していただくには材料が足りないということで、色々な材料を提供する義務が我々にはあるので、「指定管理者制度を導入して運営するとしたら、我々はこのように考えているが、どうか。」という形で諮問させていただきたいと、図書館協議会にはお話しした。ただ、図書館協議会の委員から「導入ありきだ。」という御意見があったのは事実である。

(2) 中学生の交通事故について

指導室長から事故の概要、事故後の学校の対応、教育委員会の対応等の説明があった。

※被害生徒のプライバシーに配慮し、会議録へは記載しないこととする。

6 委員会閉会の宣言（上原委員長） …15時50分